

福祉の力

福祉についての想い

私が福祉の仕事に携わり、25年経ちます。それからいつも胸の中にあるのは、怒りと心を豊かにしてくれる人との出会い（感動）です。何もできない自分への怒り、無理解から生まれる差別偏見のある社会、私たちが生活している社会は、大変残念なことに、障がいのある方や高齢者が生まれ、育ち、暮らしていくには多くの制約を伴い、住み慣れた地域での暮らしを続けることがとても難しいものとなっています。

悔しくて、悲しくて、切なくなる様な現実を思い知らされてきました。

それでも厳しい環境の中にあっても、直向に生きていく姿に勇気づけられる自分があります。人の潜在能力や可能性に希望を持ちます。人は、助け合って生きる（共生・共働）。だから、社会をつくる。また、どんなに制度やサービスが充実しても、豊かな暮らしができるわけではなく、人との関係づくりが大事だと思います。

普通の暮らし。誰もがもつ権利とはい



社会福祉法人 横浜共生会
萩原 岳

豊かに暮らせる安全な社会などあり得ない。何も起らない安心ではなく、何か起きて、そこそこ大丈夫な人間関係のある社会を作りたい。私

ちは、自分が生きた時代の後に、その責任において、次世代に何を残せるか。自分にきびしく、相手にやさしく。そして、素直で賢い自己を確立すべく努力すること。社会全体で支えあう仕組みを創造していくこと。

人が一番つらいことは孤立感、孤独感を抱くこと。助け合う行動のことは、他人の痛みを感じることを。謙虚・素直さ、やさしさ、たのもしさ。他人事にしないこと。

今後、たとえ障がいがあっても、本人が望む地域で暮らし続けられる、誰もが普通の暮らしを送れる社会、障がいを理由に生活の制約を受けない社会の実現が、地域支援にあたる私たちに課せられた使命であり、目標でもあります。

人と人との関係が社会をつくり変えていく、それが福祉の力だと思います。

福祉関係者、岩手県民に伝えたいこと

変えなければいけないこと。変えていけないもの。忘れないこと。忘れてはいけないこと。忘れられないこと。忘れてはいけないこと。だじょうぶ。大丈夫じゃないことは分かっています。私は初めて訪れた時のあの場所、空間、空気を忘れませんから、絶対に。出逢った人を、話を、なかつたことにはしませんから。

震災の中で感じたこと

大変なことが起きた。誰もが思った。震災の起きた地からあまりにも遠く離れた横浜にいる自分に、いったい何ができるのだらう。何度訪れても答えはまだ見つからない。だから、長く続けていこうと決めている。

「おねがいカード」県民運動展開

岩手県社会福祉協議会では岩手県からの委託を受け、東日本大震災を踏まえ、災害時において障がいのある方々が、大切な命を守るための日頃の備えや避難場所での生活などについて、「障がいがある方たちの災害対応のてびき」を取りまとめ、県内の障がいのある方々に配布しています。



普及の「ポスト」と「災害対応のてびき」

このてびきには、障がいのある方が困ったときに手助けを求めするための「おねがいカード」がついています。障がいのある方が「おねがいカード」を提示した

直行便

場合は、ご支援をお願いいたします。

また、「おねがいカード」の普及に関するポスターを作成し、関係機関等への掲示をお願いして県民運動を展開しています。ご協力をお願いいたします。

<問い合わせ先>
●岩手県社会福祉協議会・いわて障がい福祉復興支援センター
☎019-601-8484

ありがとうございます

[神奈川県生命保険協会・岩手県生命保険協会より]

1月22日に神奈川県生命保険協会より、当会に170,000円を寄付いただきました。寄付金は東日本大震災被災地活動支援金として活用する予定です。

また、岩手県生命保険協会より、県内の3つの障がい者支援団体へ各100,000

円を寄付いただきました。

社団法人生命保険協会へ加入する都道府県生命保険協会からは、社会貢献活動の一環として、東日本大震災被災地活動支援金として2011年から寄付をいただき、今回で3回目、障がい者支援団体活動支援金として2012年から寄付をいただき、今回で2回目となります。



駐車場の利用についてお願い

会議、研修会などでふれあいランド岩手をご利用いただく際に利用状況により、駐車場を指定することがあります。その際は指定場所に駐車くださるようご理解、ご協力をお願いします。

●ホームページのご案内 福祉についての最新情報や詳しい情報はホームページをご覧ください